

スズキ、2020年3月期第3四半期決算を発表

－ インド四輪市場の回復遅れと為替影響等により減収減益 －

1. 第3四半期決算の業績概況

当第3四半期の業績は、インド四輪市場の回復遅れと為替影響等により、減収減益となりました。

連結売上高は2兆6,261億円と前年同期に比べ2,127億円(7.5%)減少しました。利益面では、営業利益は1,704億円と前年同期に比べ861億円(33.6%)減少、経常利益は1,948億円と前年同期に比べ1,113億円(36.4%)減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,166億円と前年同期に比べ642億円(35.5%)減少しました。

2. 各セグメントの状況

(1) 四輪事業

売上高はインド、パキスタンでの販売減少や為替円高の影響により2兆3,771億円と前年同期に比べ2,195億円(8.5%)減少しました。営業利益は売上減少に加え、為替円高、諸経費等増加により1,566億円と前年同期に比べ875億円(35.9%)減少しました。

(2) 二輪事業

インドでの販売増加の一方、インドネシア、タイでの販売減少や為替円高の影響により、売上高は1,822億円、営業利益は27百万円と、ともに前年並みとなりました。

(3) マリン事業他

大型船外機「DF350A」の北米を中心とした販売貢献等により売上高は668億円と前年同期に比べ68億円(11.3%)増加、営業利益は138億円と前年同期に比べ15億円(12.9%)増加しました。

(4) 所在地別

日本およびアジアで減収減益となりました。営業利益につきましては、日本で919億円と前年同期に比べ207億円(18.3%)減少、アジアで541億円と前年同期に比べ675億円(55.5%)減少しました。

3. 連結業績予想

連結業績予想につきましては、前回予想を据置きとさせていただきます。

以下の連結業績予想を最低必達目標とし、当社グループは一丸となってあらゆる分野での改革に取り組み、業績予想以上を達成すべく事業活動を展開してまいります。

売上高	3兆5,000億円	(前期比 9.6%減)
営業利益	2,000億円	(前期比 38.3%減)
経常利益	2,200億円	(前期比 42.0%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,400億円	(前期比 21.7%減)
(為替レート) 1米ドル=107円、1ユーロ=118円、1インドルピー=1.53円、 100インドネシアルピア=0.76円、1タイバーツ=3.50円		

以上

※連結業績予想については、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき算出したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、さまざまな要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル/円相場、ユーロ/円相場、インドルピー/円相場)などが含まれます。